

里地里山とは

里地里山とは、奥山と都市の中間にあって、集落とその周りの森林と農地で構成される地域をさしています。里地里山には古くから人々が慣れ親しんできた雑木林、水田、ため池、草地などがありますが、これらは農林業に伴うさまざまな人の働きかけを通じて作り出され、維持されてきたものです。

減少する里地里山の生き物

メダカやゲンゴロウなど、昔は身近に見られた生き物が、近年全国的に減少していることがわかり、絶滅のおそれのある野生生物（絶滅危惧種）として挙げられるまでになりました。この原因としては、社会経済の大きな変化に伴って、農山村での過疎化や高齢化が進行した結果、伝統的な農林業の生産様式が変化したり、山間の水田や山林が管理されないまま放置されたりしたことなどが挙げられます。県が発行した「福井県レッドデータブック」では、里地里山にすむ327種の生物に絶滅のおそれがあることが示されています。

福井県の里地里山から姿を消した生物



トキ

1957年（昭和32年）に福井市久喜津町の日野川河川敷で銃弾をうけた1羽の死体が発見された。以降、記録無し



コウノトリ

1964年（昭和39年）に小浜市で繁殖が確認されて以降、繁殖の記録無し



オキナグサ

かつて六呂師高原に生育していたが、1989年（平成元年）以降は確認されず野生のものは絶滅。栽培のものは県内に存在



アサザ

かつて三方湖に生育していたが1965年（昭和40年）以降、記録無し。現在、県内でみられるのは、他県から移入されたもの

も く じ

里地里山とは	2
減少する里地里山の生き物	2
よみがえる里地里山の価値	4
人の営みと深く関わって維持されてきた里地里山	4
守り伝えたい福井の里地里山30	5
勝山市北谷町	6
勝山市長尾山	7
勝山市平泉寺町	8
六呂師高原	9
大野盆地	10
北潟湖周辺	11
陣ヶ岡丘陵地周辺	12
金津東部	13
坂井平野	14
福井市鷹巣地区北部	15
高須山山麓	16
福井市上郷地区	17
未更毛川上流	18
旧織田町萩野地区	19
丹生山地南部	20
三里山	21
武生市味真野地区	22
敦賀市池河内湿原周辺	23
中池見湿地	24
野坂岳山麓	25
敦賀半島	26
耳川上流の開拓地	27
菅湖と三方湖周辺	28
三方町黒田地区	29
三方町白屋地区	30
小浜市口名田地区	31
小浜市飯盛地区	32
大飯町本郷地区東部	33
子生川周辺	34
高浜町内浦地区西部	35
動き出した保全・活用への取り組み	36
人とメダカの元気な里地づくり（武生市）	36
「かや田」の保全と地域環境教育（三方町）	37
絶滅した動物を復活させる取り組み（新潟県佐渡市）	38
都会人が魅力に感じる “福井型エコ・グリーンツーリズム”の推進	38
保全・活用方法の選び方	39
雑木林	40
巨木林	41
広い水田	42
山 田	43
ため池	44
小 川	45
草はら	46
湧水地	47
湧水湿地	48
写真提供者 / おもな参考文献等	49



よみがえる里地里山の価値

里地里山は、人が暮らす場であると同時に、食糧生産、環境教育、文化の伝承、生物多様性の保全、水源涵養、大気浄化など様々な機能をもっています。

また、日本の原風景ともいえる懐かしい景観は、いやしの場としても都市に住む人々を魅了し、農林業体験や自然観察といったエコツーリズムやグリーンツーリズムなど体験型の観光が広まりつつあります。



人の営みと深く関わって維持されてきた里地里山

下草刈りや落ち葉拾いなどの管理作業は山菜やキノコの生育を促し、薪を採るために適度に枝を落とした木からは樹液がしみ出し、それを目当てにカブトムシやクワガタムシが集まりました。また、江掘りをした土水路では、魚が豊富に捕れました。このように、管理作業と自然の恵みは表裏一体の関係でした。

水田、小川、ため池などの水辺は、人の手をかけないで放っておくと、草や木が生い茂るなどの環境変化により、生き物はすみかを追われてしまいます。また、雑木林も放置すればやがて林の中に下草が茂り、明るい林を好むギフチョウやカタクリなどが姿を消していきます。里地里山の生態系は、人との関わりの中で維持されてきたのです。